

那覇市上下水道局庁舎新築工事が着工

効率的な事業展開目的に

2007年1月供用開始予定



工事着工を祝い乾杯する参会者



翁長雄志
那覇市長



高嶺晃
那覇市上下水道事業管理者



當間卓
繡泉設計代表取締役



黒島正夫
先導建設代表取締役



着工した那覇市上下水道局新庁舎の完成予想図

那覇市の重要政策に掲げられた上下水道の組織統合により那覇市上下水道局がスタートして半年、早急な建設が望まれていた那覇市上下水道局新庁舎が来年12月に竣工する。その安全祈願祭が9月7日、那覇新都心地区おもろまちの同建設予定地で執り行われた。

祈願祭の後、直会に移り、翁長雄志那覇市長、高嶺晃上下水道事業管理者、設計業者の當間卓繡泉設計社長、施工業者を代表して黒島正男先導建設社長がそれぞれ挨拶、翁長雄志那覇市長は「新都心地区の中心に位置する新庁舎が完成し、上下水道業務が新庁舎に集約されると効率的な上下水道事業の展開が図られ、市民サービスの向上、利便性の向上に大きな役割を果たすことができる」と期待を寄せた。

新庁舎の基本理念として、①21世紀の魅力ある機能を兼ね備え、地域に貢献する(多目的広場、水の資料室、インテリジエントビル)②省資源・省エネルギーによる環境共生都市(エコシティ)づくりの推進(水蓄熱空調、太陽光発電、雨水・再生水利用、省エネ型照明設備、ユニバーサルデザインに配慮した施設)③災害に強い都市づくりの形成にあたりライフロインの充実を図る(免震構造・電力の2重引込み・自家発電設備・集中監視センター、水質試験所の拡充)の3点を備える施設を設置する。



直会で紹介される施工企業の代表者